

千葉商科大学 プレスリリース

第8回 CUC地域連携フォーラム 「どう活かす？ 地域資源」

千葉商科大学(学長:原科幸彦)地域連携推進センター(センター長:鈴木孝男)では、2月24日(土)に「CUC地域連携フォーラム」を開催します。

今年度で8回目を迎える同フォーラムでは「どう活かす？ 地域資源」と題し、地域資源の活用事例を紹介します。

私たちが暮らす土地・地域には、それぞれ特有の歴史・伝統・風習・文化等によって育まれた多くの遺物・遺産や風土・自然がもたらした独特の資源が存在しています。今回のフォーラムでは、こうしたさまざまな地域の資源や特性を発掘し、有機的に活用することで新たなビジネスやブランドを生み出したり、地域の再生や活性化に結びつけている活動事例を報告します。また、その一例である特産品を紹介する特設ブースを設置し販売を行います。多くの皆さまのご参加をお待ちしています。

▶ CUC 地域連携フォーラム

千葉商科大学が地域社会の情報拠点となり、教育資源や研究成果の活用と共に市民の皆さまの経験や知恵を結集して、地域の諸問題の解決策を探る場となっています。地域社会がより豊かで魅力ある街となることをめざした社会貢献活動の一環として、2010(平成22)年度より毎年開催しています。

▶ 千葉商科大学「地域連携推進センター」

さまざまな活動を通して大学と地域社会との連携及び情報発信や地域貢献活動等に努めています。地域を志向した活動を多様に展開し、地域の拠点大学として、地域の人々と「一緒に学び」、「相互にふれあい」、「協働で行う」ことによって「地域が頼れる大学」、「地域と共に生きる大学」をめざします。

◆第8回 CUC地域連携フォーラム 入場無料

【日 時】 2018年2月24日(土) 14:00～16:20 (開場 13:30)

【場 所】 千葉商科大学 本館7階大会議室

【テ ー マ】 「どう活かす？ 地域資源」

※詳細は別紙チラシをご参照ください。

【定 員】 150名

【問合せ先】

千葉商科大学 地域連携推進センター

〒272-8512 市川市国府台 1-3-1 TEL: 047-320-8667 FAX: 047-373-9958 E-mail: cucr@cuc.ac.jp

第 8 回 CUC 地域連携フォーラム

検索

90th

高徳の実業人を創る。
千葉商科大学創立90周年

CUC
Chiba University of Commerce

千葉商科大学

www.cuc.ac.jp

第8回 CUC地域連携フォーラム

どう活かす？ 地域資源

2月24日 土 午後2:00

千葉商科大学 本館7階 大会議室

わたしたちが暮らす土地・地域には、それぞれ特有の歴史・伝統・風習・文化などによって育まれた多くの遺物・遺産や風土・自然がもたらした独特の資源が存在しています。今回のフォーラムでは、こうしたさまざまな地域の資源や特性を発掘し、有機的に活用することで新たなビジネスやブランドを生み出したり、地域の再生や活性化に結びつけている活動事例をご紹介します。

また、同日午前には、大学の助成金制度を利用した市民等の研究発表が行われます。1日を通してどなたでもご参加いただけます。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

地域資源の活用事例報告

- 石川県能登地方における地域資源利用事例
- 房総ポークブランディングプロジェクト
- 船を活用した行徳のまちづくり
- 地域資源を活用した学び：地域を考え、地域に親しむ

TOPICS

事例報告の特産品をご紹介します
特設ブースを設置予定です。

午前

地域志向研究助成金 2017年度研究報告会 ＜市民等による研究発表＞

- 10:00～12:45（個別時間は裏面参照）
- 本館7階大会議室

……………研究テーマ(発表順)……………

1. 市川市内の介護老人保健施設及びリハビリテーション病院のソーシャルワーカーにおける地域の介護問題についての意識の研究
2. ソーシャルビジネスを志向した生活支援サービスの担い手育成に関する研究
3. 増加する空き家の実態調査と地域街づくり連携に関する研究
4. 地域の多様な人材をコーディネートする能力を育てる教育メソッドの開発～松戸市・鎌ヶ谷市・市川市における地域トランスメディアイーターの創出～
5. 市川市じゅん菜池の自然環境改善と環境教育への取り組み

千葉商科大学 地域連携推進センター 市川市国府台1-3-1

主催・お問い合わせ

TEL 047-320-8667 URL <http://www.cuc.ac.jp/>

- ご来場の際は、公共交通機関をご利用ください。
- プログラム及び参加方法については、裏面をご参照ください。

入場無料
申込不要

どう活かす？ 地域資源

2018年2月24日(土)本館7階大会議室

プログラム



主催者 挨拶・事業報告 14:00～14:20



地域連携推進センター活動報告

千葉商科大学 地域連携推進センター長 鈴木孝男



報告 14:20～15:50

■報告1 14:20～14:40

石川県能登地方における地域資源利用事例

商経学部専任講師 大塚茂晃

■報告2 14:40～15:00

「房総ポークブランディングプロジェクト」

政策情報学部専任講師 吉羽一之

<休憩> 15:00～15:10



■報告3 15:10～15:30

船を活用した行徳のまちづくり

水運ネットワーク 田中祥一

■報告4 15:30～15:50

地域資源を活用した学び：地域を考え、地域に親しむ

商経学部教授 関口雄祐



意見交換 15:50～16:20

※16:30 終了予定

■地域志向研究助成金制度について
大学の地域連携・社会貢献活動に資する地域を志向した調査研究活動の振興を目的とした地域連携推進センターの助成金制度。

研究対象地域は市川市及び隣接する基礎自治体、または千葉県全体。

—詳細は募集要項でご確認ください—

午前

地域志向研究助成金 2017年度研究報告会

<報告時間・報告者>

1. 10:05～10:35 齋藤香里 千葉商科大学商経学部准教授
2. 10:35～11:05 齊藤紀子 千葉商科大学人間社会学部専任講師
3. 11:05～11:35 高坂 昇 央2株式会社専務取締役
4. 11:35～12:05 影山貴大 合同会社J-doc代表社員
5. 12:05～12:35 杉田 文 千葉商科大学商経学部教授

【参加方法について】基本的には「申込不要」ですが、事前にお申込みいただくことで、円滑な入場が可能です。希望者は、FAXまたはE-mailで、件名を「研究報告会・フォーラム」とし、参加者のお名前・連絡先電話番号(メールアドレス)・ご職業を簡条書きにして、2月22日(木)までに地域連携推進センターまでお申込みください。FAX・047(373)9958/E-mail・cucr@cuc.ac.jp